

平成27年度の一般会計予算は418億円で、前年度に比べて1億円、率にして0.2%増加しました。厳しい財政状況のなか、引き続き災害に強い都市基盤整備を進めるほか、合併10周年を迎えた丸亀市の新たなまちづくりスタートの年として、人口減少や少子高齢化などの課題にも取り組む、市民の暮らしを支え未来を築く予算となっています。

歳入

市税や地方交付税、譲与税・各種交付金や臨時財政対策債など、経常的な一般財源の総額は245億2800万円。消費税増税により、地方消費税交付金が増額する一方、合併算定替の縮減措置が始まる地方交付税や財源不足を補う臨時財政対策債の発行抑制により、前年度と比べて2億6300万円減少。個人・法人の市民税で増収が見込めるものの、地価の下落による固定資産税の減収などを受け、市税は前年度と比べ1億円

減少する見込み。公共事業関係費に係る補助金などが減額となる国・県支出金は、全体で85億1800万円。前年度と比べ5億1500万円減少。

子育て支援に係る事業を推進するため、健やか子ども基金から1400万円。また、安全安心に係る施設整備や各種事業を推進するため、国・県支出金や市債を充当した後の財源措置として、特定目的基金から約3億2400万円を繰り入れ。

財産収入は、未利用の公共財産の貸付料など1億7700万円。諸収入は、競艇事業からの収益収入として前年同額の1億円を計上するほか、中讃ふるさと市町村圏基金の出資金返還金4億8200万円。

学校教育施設や保育所施設の改築、コミュニティセンター整備などに合併特例債を主に活用するほか、臨時財政対策債などを除く建設地方債として、市債を34億4100万円発行予定。

歳出

人件費や扶助費、公債費の義務的経費の合計は、歳出全体の51.6%を占める215億8600万円。前年度と比べて8億9700万円増加。定年退職者の増加などにより人件費が4億1900万円増加するほか、制度の充実や対象者の増加により扶助費が1億1500万円増加。

合併特例債などの市債償還本格化により、公債費が3億6300万円増加。物件費は、新たに必要となる市民球場の管理運営費や子どもたちの教育や保育などで増加する臨時職員の賃金により、前年度と比べて1億4000万円増加。中讃広域行政事務組合負担金が増額する一方で、低所得者や子育て世帯への国の臨時的給付措置（臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金）が前年度より減額することから、補助費等が前年度と比べて1億9200万円減額。

基金への積立金として、運用利子や競艇事業収益金の1億円を競艇収益基金に積み立てるほ

か、県の「かがわ健やか子ども基金事業補助金」を活用して設置した健やか子ども基金に積み立て。国民健康保険や介護保険など、社会保障関連の特別会計への繰り出しが引き続き増加。また、今年度から塩飽5島への海底送水管布設工事に係る水道事業会計への繰出金を再開するため、繰出金は前年度と比べて約2億1100万円増加。総合運動公園野球場整備や小中学校の耐震化完了により、投資的経費は前年度と比べて9億6200万円減少し、総額60億9800万円。引き続き、老朽化した施設の改修・改築や市道の舗装・補修事業をすすめ、安全安心の都市基盤づくりに努めます。

経常収支比率

財政の弾力性を示す経常収支比率は、人件費や公債費などの経常経費の増加と市税や地方交付税などの一般財源減少により、当初予算ベースでは98.0%。前年度と比べて、財政硬直化が4.0ポイント進むことになり

特別会計および公営企業会計の規模

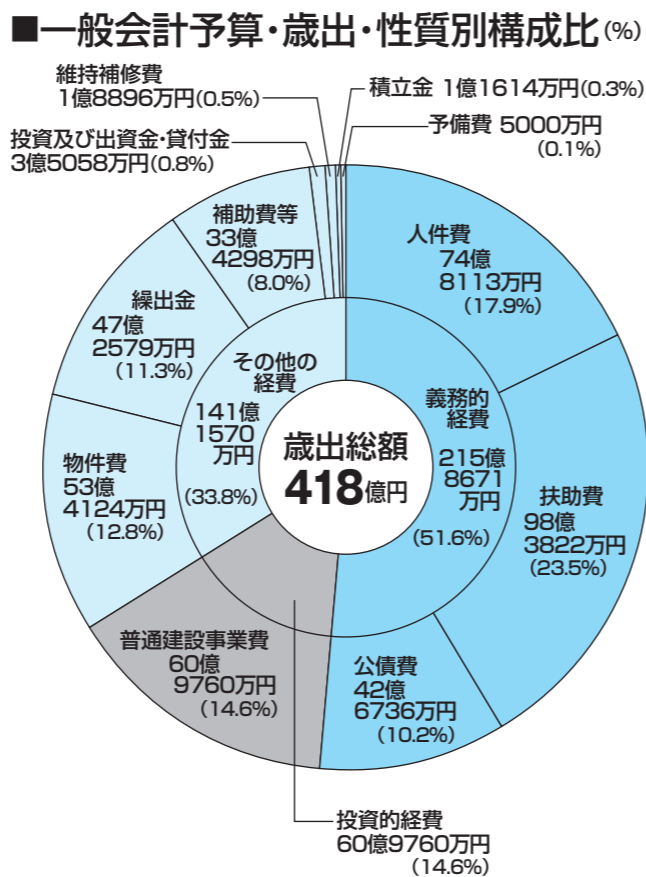
特別会計	当初予算額	増減率(%)
国民健康保険	163億800万円	19.2
国保診療所	1億2100万円	0.8
公共下水道	34億1500万円	34.6
農業集落排水	1億7530万円	16.9
駐車場	1億1700万円	0.0
後期高齢者医療	12億1800万円	2.0
介護保険	81億7700万円	2.5
介護保険サービス事業	1億700万円	17.4
合計	296億3200万円	14.5

水道事業会計 41億2301万円 ▲2.2  
競艇事業会計 784億7915万円 13.1

リースチャンピオンをはじめ、2つのGILEEを開催するなど、積極的な営業展開を図ります。

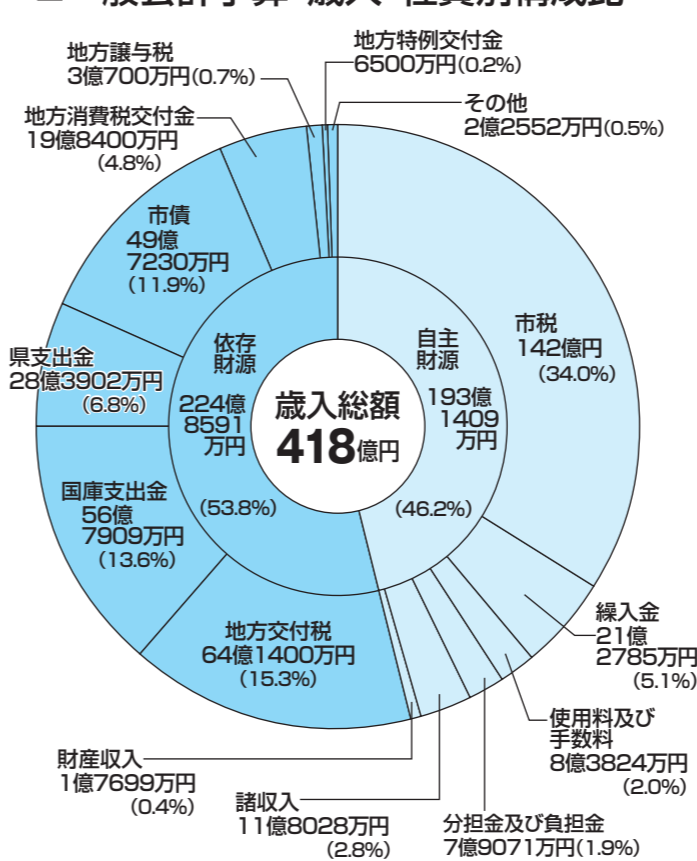
特別会計および公営企業会計  
予算規模が拡大し続ける社会保障関連会計を含む8つの特別

一般会計予算・歳出・性質別構成比(%)



※四捨五入の関係により、各項目の合計値が一致しない場合があります。

一般会計予算・歳入・性質別構成比(%)



平成27年度の主な重点的施策(抜粋)

事業名	予算額
<b>未来を築く事業</b>	
●産学等連携推進事業補助金	700万円
●マイナス1歳からはじまる子育て講座	100万円
●コミュニティまちづくり補助金	340万円
●離島住民通勤等航路費補助金	202万円
●就職面接会開催費	200万円
●空き店舗・空きオフィス等活用促進補助金	300万円
<b>合併10周年記念事業</b>	
●(仮称)史上最大の婚活大作戦	250万円
<b>安全に暮らせる基盤整備</b>	
●空家対策事業費	1068万円
●学校教育施設安全対策事業費	3億1710万円
●史跡丸亀城跡三の丸坤櫓(ひつじさるやく)跡石垣修復事業費	4060万円
<b>子育て環境の構築</b>	
●放課後留守家庭児童会施設整備事業費	1億165万円
<b>健康に暮らせる環境整備</b>	
●人間ドック助成事業費	2100万円
<b>元気に働くための産業振興</b>	
●企業訪問専門員	283万円
●産業振興支援補助金	1100万円
●瀬戸内国際芸術祭事業費	1350万円
●明日の農業を守る鳥獣被害防止対策事業補助金	200万円
<b>市民活動の支援と協働促進</b>	
●地域担当職員制度	ゼロ予算事業

※国の経済対策による前倒し事業(平成26年度3月補正予算)を含む